

2015年8月13日

各位

本店所在地 横浜市港北区新横浜3-8-11
KDX新横浜381ビル
会社名 株式会社リプロセル
(コード番号4978 東証JASDAQグロース)
代表者 代表取締役社長 横山周史
問い合わせ先 取締役経営管理部長 帯田大悟
電話番号 045-475-3887(代表)

「コミット・イシュー」に関する説明資料

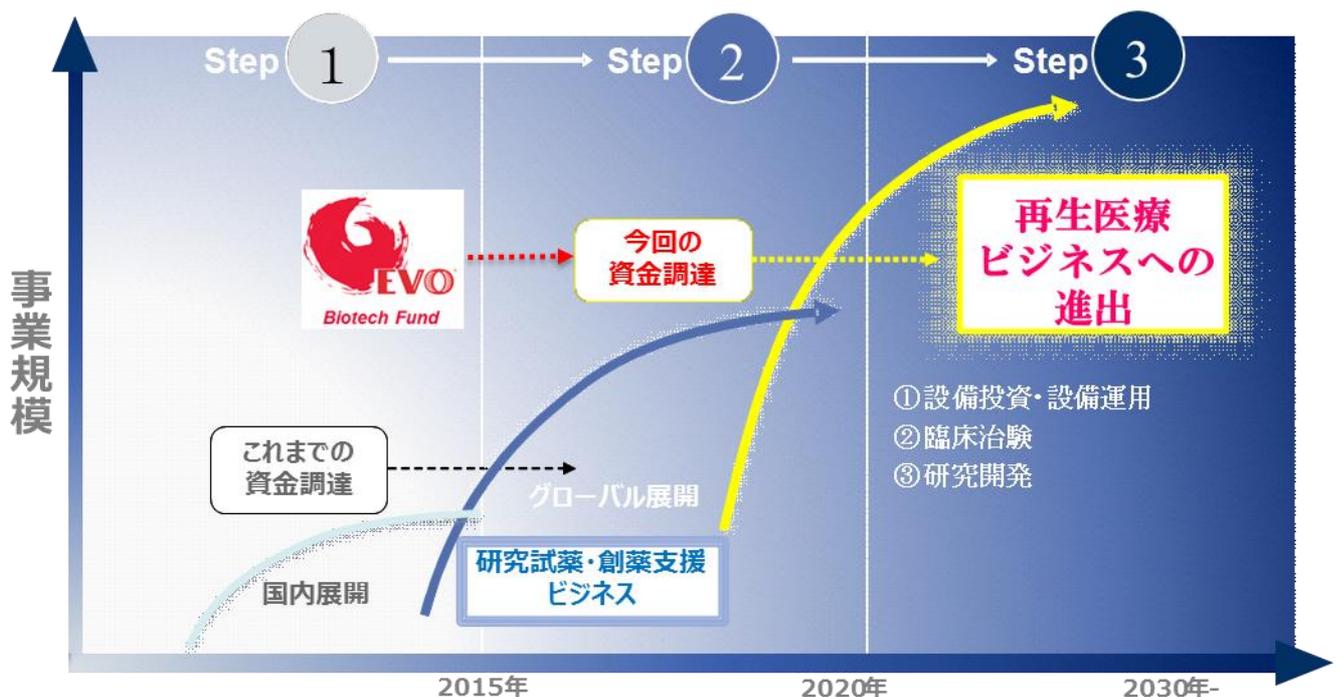
～再生医療進出に向けて～

当社は、2015年8月13日開催の取締役会において決議いたしました、**Evolution Biotech Fund**を割当先とする「**コミット・イシュー**」の発行に関しまして説明資料を作成致しましたのでお知らせ致します。なお、詳細につきましては、2015年8月13日付で当社が発表しましたプレスリリース「第10回新株予約権(行使価額修正条項付き)(第三者割当て)の発行並びに新株予約権買取契約(コミット・イシュー)の締結に関するお知らせ」をご参照ください。

記

再生医療分野へ成長資金を投資 ～ 再生医療へのコミット

今回のエクイティ・ファイナンス(コミット・イシュー)により調達する資金22億円(予定)を、再生医療分野へ投資致します。たとえば、再生医療用の試薬製品・細胞製品を市場に展開するために必要な臨床治験への投資。治験薬を製造する際に遵守すべきガイドラインGMP(Good Manufacturing Practice:医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準)に準拠した施設の設置費用。また生産設備だけでなく、試薬・細胞そのものをGMPに準拠する臨床グレードに引き上げるための研究開発。これらのことを通じて早期に確固たるビジネスモデルを構築し、再生医療分野におけるマーケット・リーダーとなることを目指します。



コミット・イシューのコンセプト及び特徴・効果

① Evolution Biotech Fund (機関投資家)による株式投資 ～ 投資家のコミット

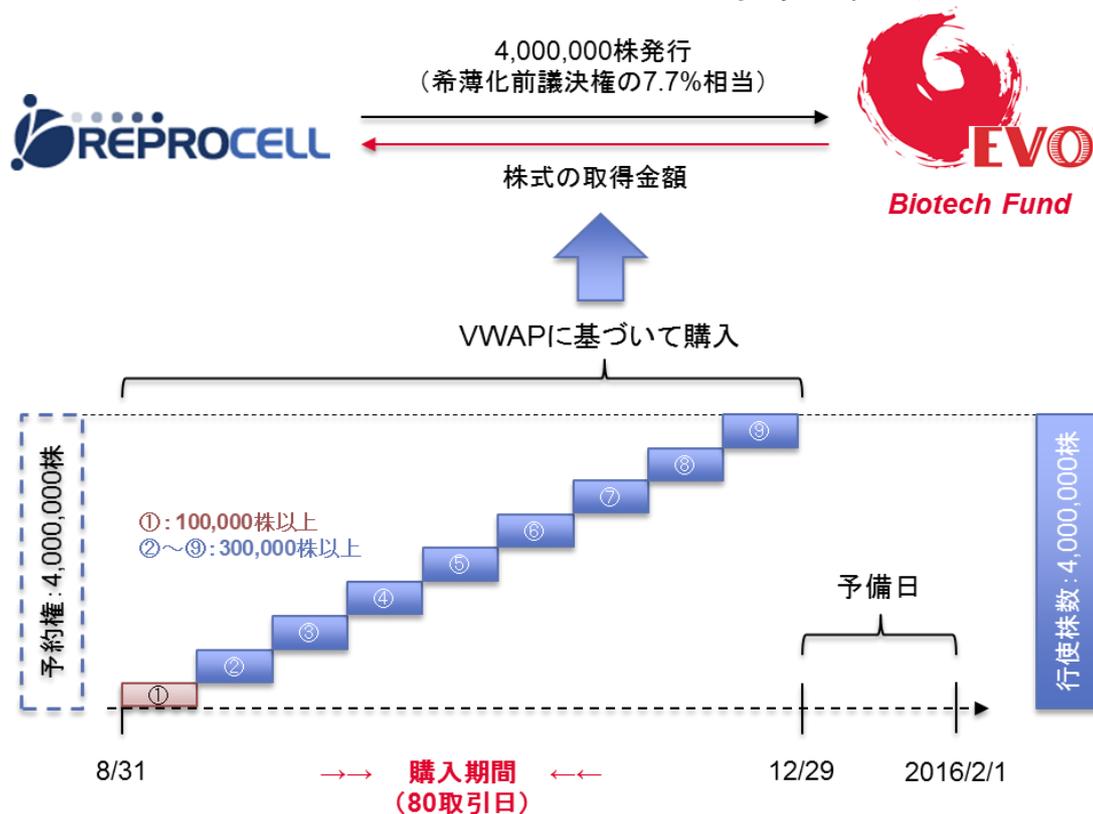
EVOLUTION ファイナンシャル・グループ (<http://www.evofinancialgroup.com/>) は、2002年に創設された米国を本拠地(本社:ロサンゼルス)とする「機関投資家」です。そして、世界中の機関投資家、法人顧客、富裕層の個人投資家等から高い評価を受けている投資アドバイザーでもあります。

株式投資の中でも、主に日本株投資に特化し、アベノミクスの「成長戦略」に乗じて成長企業・新興企業についても投資を拡大しており、日本でのプライマリー市場における第三者割当型のエクイティファイナンス(新株、転換社債、新株予約権)では、マーケット第7位(同社調べ:2014年から現在まで)の実績があります。

特に日本のバイオ関連企業(とりわけ再生医療)の投資にフォーカスし、このたび「**Evolution Biotech Fund**」を立ち上げて、当社が案件第1号となりました。また当社との議論を通じ、当社の成長戦略及びエクイティ・ストーリーに対して共感されたため、今回のコミット・イシュー発行及び買取りの合意に至りました。

Evolution Biotech Fund は、80取引日期间中のVWAP値を用いて当社に対する株式投資(当社の立場からは資金調達)を行います。**Evolution Biotech Fund** はこれにより、あるタイミングで一括投資するよりも、全体として大きな規模の株式投資を行うことが可能となるため、当社としても、資金調達額を増大させることが出来るというメリットがあります。

<ご参考:コミット・イシューのコンセプト>



※上述のコンセプトを、新株予約権を用いて実現

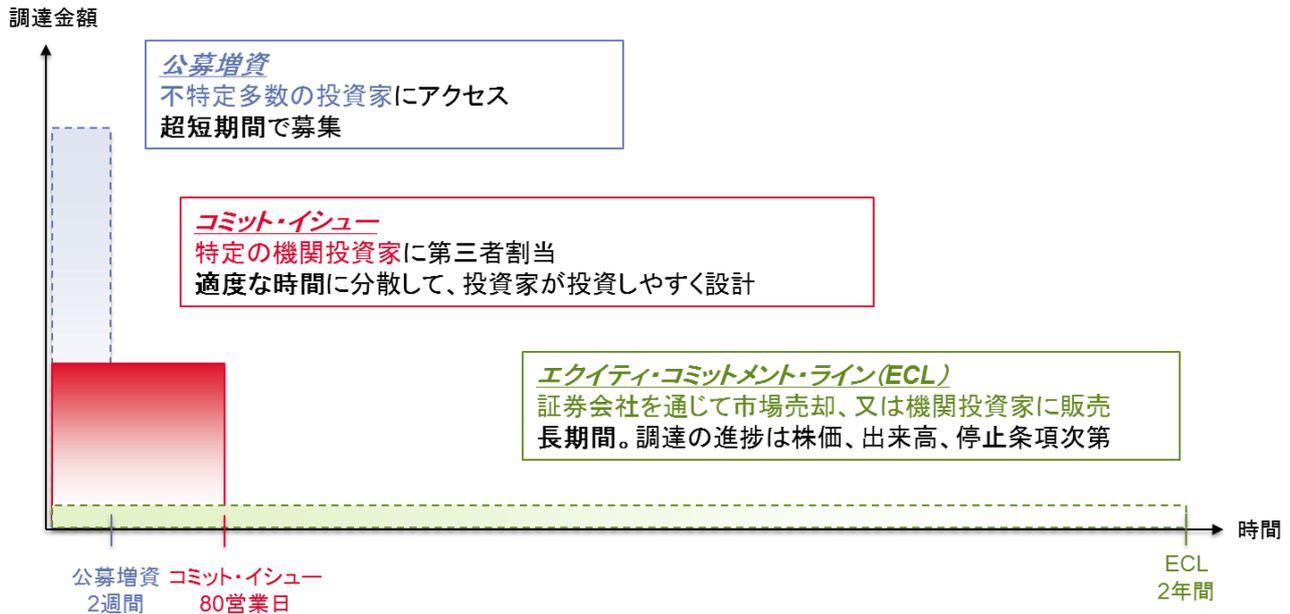
② 短期間における確実な発行

新株式発行予定株数(4,000,000株)を、原則として80取引日期间において全株発行(**全部コミット**)します。80取引日期间内の権利行使は、原則として9回のみです。また、各回行使には「**部分コミット**」条項も付与されており、タイムリーなキャッシュ・フロー確保を両立することが出来ます。

③ 適度なファイナンス期間

コミット・イシューでは、適度な期間にわたり株式発行のタイミングを分散することで、投資家が大規模な株式投資を実現できる設計となっています。

<ご参考:他手法とのファイナンス期間比較>



他手法を含めた選択肢の中で、今回においては当社における a) 現状の体制、b) 資金ニーズのスピード、c) 出来高等のマーケット状況等を考えた上で、第三者割当方式による「コミット・イシュー」が最適であると判断致しました。

<ご参考:他 第三者割当型手法との比較>

	コミット・イシュー	エクイティ・コミットメントライン
形態	新株予約権	新株予約権
割当先	機関投資家	証券会社
期間	短期間(4~5ヶ月)	長期間(2年間)
全部コミット	有り	無し
部分コミット	有り	流動性次第
行使頻度	2週間に1回(計9回)	毎日
行使停止条項	無し	発行会社に停止権有り

コミット・イシューとは

当社が新株式の発行予定株数(4,000,000株)を予め定め、80 価格算定日の売買高加重平均価格(VWAP)に基づき、原則として割当予定先が必ず全株式を購入する(全部コミット)手法です。購入に際しては、新株予約権の行使請求(計9回)を通して行われます。各回の行使においては、割当日の翌日(初回行使)に100,000株相当分以上の本新株予約権を行使すること、及び原則として8回にわたり10取引日毎に各回300,000株相当分以上の行使をすることを(部分コミット)約しております。前者の「全部コミット」と後者の「部分コミット」の組み合わせが、当コミット・イシューの特徴です。

また全株数において908円というターゲット価額(上限行使価額)を定め、8回の価格算定日の売買高加重平均価格(VWAP)と比較して発行されることになります。

<ご参考:再生医療関連の当社のリリース情報>

※ 2015年6月8日付発表のプレスリリース「再生医療実現に向けたiPS由来の分化細胞群からの残留iPS細胞の選択的除去技術の開発（SBIファーマ株式会社ALA技術応用）に関するお知らせ」

※2015年1月27日付発表のプレスリリース「造血幹細胞の増幅方法に関する国内特許成立に関するお知らせ」

※2014年9月29日付発表のプレスリリース「新生銀行との共同ベンチャーファンド「cell Innovation Partners,L.P」の運営開始に関するお知らせ

以上